

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	富士見町ご当地グルメ 高原野菜グルメサミット
事業主体 (連絡先)	富士見町 富士見町役場 産業課 商工観光係 電話 0266-62-9342
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,268,000 円 (うち支援金: 1,701,000 円)

事業内容

富士見町は、富士見パノラマリゾート及び富士見高原リゾートの二大観光地を目的に訪れる観光客は多いが、街なかへ回遊することなく近隣の観光地へ移動して食事をする観光客が多いことから、「高原野菜」をテーマに町内19店舗からオリジナルメニューを提案してもらい、グリーンシーズンの間、町全体で高原野菜メニューを美味しく食べられることをアピールした。また、スタンプラリーで3店舗を巡る企画により、町内飲食店舗の利用促進を図った。

・高原野菜グルメサミット開催：6月1日～9月30日



【高原野菜メニュー例】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 各店舗の「高原野菜」のオリジナルメニューを定着させることで街なかの飲食店の食の魅力向上することができた。
- ② 継続店舗では前年並み若しくは売上げ増加となった店舗が多く、前年比約20%増加の店舗もあった。新たに2店舗が加わり、新規店舗では前年度に比べ来店者・売上げとも増加した。また、地元産の野菜を使用することで地産地消にもつながり、地域連携、活性化の一助となった。
スタンプラリー応募者 138 名
- ③ この企画で初めて富士見町を訪れた方、地元にながら初めて訪れた方やリピーターなど、富士見町ファンが増加する機会にもなり着地型観光としての定着が見られた。

【目標・ねらい】

- ① 食の魅力の向上
- ② 飲食店利用促進による地域活性化
- ③ 観光客の増加

※自己評価【 A 】

【理由】

「高原野菜」をキーワードに高原ならではの美味しさをアピールすることで満足も高く、平均で10%の売上げ増加があり、地元野菜を使うことで地産地消にも繋がり、地元、観光客、リピーターによる来訪者、富士見町ファンの増加が見られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加店舗による反省会の開催により課題を抽出し、来年度のグルメサミットについても、新規参加店舗を増やすことにより、高原野菜メニューの魅力をブラッシュアップして満足度を高める取り組みを共有し、集客力に繋がるイベントとして継続して開催する。

グリーンシーズンのイベントとして定着するため、行政主導ではなく、商工会や観光協会、特産品協議会とも連携し、民間主導で継続する体制を作る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある